

取組名称	自然と共存するサステナブルなホテルとして持続可能で高付加価値な観光を支援			団体設立後の経過年数	90年
応募取組主体名称	上高地帝国ホテル	活動地域	長野県松本市	応募取組の活動年数	3年
取組主体の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境地域ブランディング賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境ひとづくり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	<p>日本を代表する標高1,500mの山岳景勝地である上高地。地球温暖化による気候変動を身近に感じるからこそ、今ある自然環境を次世代へ守りつなげる使命が上高地帝国ホテルにあります。そこで「自然と共存するサステナブルなホテル」をテーマに、SDGs達成に貢献するための取り組みをさらに進め、サステナブル・ツーリズムにおける先行事例となります。そのためにお客様や地域と共に、持続可能性と真の贅沢さを追求するホテルを創ります。</p>
実績の要旨	<p>既に2015年より生ごみの100%リサイクル、2016年にエコマークを取得していましたが、2022年よりカーボンニュートラル運営を開始。同時に、客室アメニティのプラスチック使用量を約9割削減しました。また「ここにしかない贅沢な時間」をご提供するため、スタッフがアイデアを出し合いマントルピース点火式や星空観賞会などアクティビティを企画。その背景には、1963年から「上高地を美しくする会」への参加や環境教育が従業員の自発的な活動の後押しとなっています。こうした取組紹介を各所で行い、サステナブル・ツーリズム普及に貢献しています。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	電気・ガス及び灯油使用により排出されるCO2は実質ゼロ、生ごみは100%リサイクルし、客室でのプラスチック使用量は90%削減しています。
	社会・経済への貢献	「上高地を美しくする会」に1963年設立より参加し、鳥獣保護活動と月2回の清掃活動を通じ、環境保全への意識を育成しています。
	地域資源の活用	梓川の源流からサイフォン式という電力を使わない方法で湧き水を引き入れ飲料とする他、冷房も水を循環させたシステムを導入しています。
	普及・汎用性	アフターコロナで観光需要が本格化する前に、自然と共存するホテルの先行事例となり、視察受入れや研修に協力し、普及に貢献しています。
	革新・ユニーク性	スタッフの自発的なアイデアをアクティビティや商品造成に取り入れ、当ホテルならではのおもてなしを通じてSDGs貢献と価値創造を図ります。
	継続性	環境にやさしいホテルの運営体制+スタッフのサステナビリティへの理解+お客様や地域、取引先のみならずとの協力連携+収益性

展望の要旨	<p>宿泊施設の先行モデルとして、サステナブル・ツーリズムの普及に貢献し、世界中が憧れる上高地への旅と地元で愛され続ける持続可能な国立公園創りを支える。</p>
-------	--